

## 第1回南知多町総合計画評価委員会 議事概要

日時 令和3年8月5日(木)  
13:30～16:40  
場所 南知多町役場大会議室

### 出席委員 別紙名簿のとおり

委員長	千頭 聡	日本福祉大学 国際福祉開発学部教授
副委員長	伊藤 恵子	男女共同参画人材育成セミナー修了者

### 傍聴席

1人

### 議事次第

あいさつ

- 1 委員の委嘱
- 2 評価委員会について
- 3 委員長、副委員長の選任
- 4 町民による評価

議 題

- (1) 第7次南知多町総合計画評価委員会の進め方(資料2)
- (2) 第1期アクションプラン(案)の説明(資料3、5、6)
- (3) 基本施策の評価(グループワーク)について(資料3、4、7)
- (4) 評価結果(発表及びまとめ・講評)について(資料7)
- 5 その他

**開会（司会：企画財政課長）**

**あいさつ（町長：石黒 和彦）**

いよいよ第7次総合計画の中身に入っていくにあたって、大変重要な会となる。総合計画本誌の「はじめに」の部分に「わかりやすい」「つかう」計画であることを最も重視している。これがいかに大変なことか、準備が大変だということは千頭先生よりご指摘があったが、本日ここに至るまでにモニターの皆様やネットの自由回答など町民皆様方の意見に対して、多くの検討する時間を費やして準備してきた。その成果がこの評価委員会の意見交換の中に感じられると思う。ぜひ、感じ取っていただきながら、“つかいやすく”“わかりやすい”計画とするための「産みの苦しみ」である。私たちが目指す“絆・選ばれる理由があるまち”となるため、間違いなく一步一步進んでいるので、しっかり心して、気合を入れて、私たちのまちを進化させていきたい。

### **1 委員の委嘱**

**（司会：企画財政課長）**

新型コロナウイルス感染症対策により机上交付とさせていただきます。

### **2 評価委員会について**

**（司会：企画財政課長）**

資料1の南知多町総合計画評価委員会設置要綱により説明。

- ・第1条により、評価委員会を設置する。
- ・第3条により、モニターはじめ35名の委員に依頼した。
- ・第4条により、任期は4年以内とする。
- ・第5条により、委員長及び副委員長を置く。
- ・第6条により、評価委員会は町長が招集し、半数以上委員の出席により開催する。
- ・評価委員会は、原則公開する。

### **3 委員長、副委員長の選任**

**（司会：企画財政課長）**

委員の互選により、千頭聡委員が委員長となる。

**委員長あいさつ（委員長：千頭 聡）**

日本福祉大学の千頭（ちかみ）です。以前から南知多町の総合計画に関わってきている。今日は役場の係長以上の全ての職員が出席しているという、おそらく役場始まって以来初めての取組である。我々、委員も35名ということで大所帯だが、それぞれの立場から、これからの南知多のまちづくりが、町長が話したとおり、皆さんにとっても、外から見ても、素晴らしいまちとなるように多様な意見を出してもらいたい。3時間という長丁場だが、時間は効率的に使いながら議論は濃くしていきたいのでよろしく願いしたい。

**（司会：企画財政課長）**

千頭委員長の指名により、伊藤恵子委員が副委員長となる。

#### 4 町民による評価

(司会：企画財政課長)

要綱の規定により、以降の議事の進行は委員長にお願いしたい。

(委員長：千頭 聡)

- ・昨年度策定して、今年度より運用開始する。
- ・進行管理をするということが大事であり、これまでは作って終わりであった。
- ・これから多くの人がかかわって毎年進行管理することを楽しみにしている。
- ・初年度なので、やりながら改善すべき点も検討していきたい。

#### 議題（１）第7次南知多町総合計画評価委員会の進め方

##### 【事務局の主な説明】

- ・資料2「南知多町総合計画評価委員会実践マニュアル」に沿って要点を簡潔に説明。
- ・評価委員会は、地域やまちをより良いものにするため、行政と町民が意見交換を行う。
- ・評価委員会は、毎年度1回開催し、総合計画の進み具合を町民がチェックする。
- ・総合計画の単なる採点ではなく、意見交換をしていく中で改善意見を引き出したい。
- ・意見交換はグループワークで行い、21の基本施策のうち、1グループ3施策を担当（行財政マネジメントは1グループ1施策）。
- ・各グループの進行役、記録、タイムキーパー、評価結果の発表は全て町職員が行う。
- ・いろいろな立場、考え方の人が集まり、意見交換を行うため、協力して新たな発見や共通の方向性を見出す場としたい。
- ・評価者は、自身が評価を担当する施策評価書・実施計画書・事業評価書にあらかじめ目を通し、事前に質問、意見、提案等をまとめておく。
- ・施策評価基準をもとに、「施策評価シート」に評価点をつけていると思うが、委員の主観が良い。
- ・施策評価基準について、予算事業の構成（ラインナップ）が町民ニーズに合っているか、業の構成（ラインナップ）が町民満足度向上のために有効か、地域との協働の取り組みがされているか、という視点で見ていただき、課題解決につながる提案があればお願いします。
- ・行財政マネジメントの評価基準は、予算事業に加え、業務改善の取組、マネジメントという視点で、難しいとは思いますがよろしくお願いしたい。

(委員長：千頭 聡)

- ・初めてのことなので100%うまくいくかわからないが全体の流れで質問があれば頂きたい。
- ・実際にはグループに分かれて、職員の説明を聞き、議論しながら評価するという流れ。
- ・今年は初年度なのでやり方の部分も含めて議論できると良い。
- ・グループで議論する中で質問があればお願いしたい。

## (2) 第1期アクションプラン(案)の説明

### 【事務局の主な説明】

#### (資料3について)

- ・アクションプランの構成を説明。
- ・第1章アクションプラン策定にあたっては、アクションプランの導入部分であり、総合計画の目標指標(KGI)、管理指標(KPI)の推移をまとめたもの。
- ・第2章は実施計画書(重点政策に基づく主要事業)がアクションプランの核となる部分で、翌年度以降3年間の事業計画となる。
- ・第3章は業務改善推進計画書(業務改善の取組)は、予算を伴わない日々の業務改善の取組で令和6年度までの推進計画。第2章、第3章がアクションプランの計画部分。
- ・第4章は事業評価書(予算科目ごとの事業評価)は、個々の予算事業のPDCAサイクルを実践し、成果の向上と事業の効率化を図ろうとするもの。
- ・第5章は施策評価書(基本目標・基本施策の進行管理)は、町民による評価のしくみとして、今回が初めて加わった様式となる。
- ・資料編(財政計画表、町民意識調査結果、職員意識調査結果)は、町HPの公開のみ。
- ・第2章、第3章が計画、第4章が前年度実績、第5章が評価になるが、評価委員には、評価を担当する用紙のみ郵送した。
- ・全体説明では、目標指標(KGI)と管理指標(KPI)の推移を確認した。
- ・グループワークで使う施策評価書の見方について説明。評価に関係する項目を抜粋して記載したものが施策評価書で、詳しく記載したものが、各様式になる。

#### (資料5について)

- ・資料5の実施計画書まとめは、アクションプランの全体像をつかむための資料。
- ・推進体制として、総合計画推進本部を中心に各課室が連携して取り組んでいく。
- ・18の課室は、予算に基づいて事業評価を実施し、翌年度以降3か年の実施計画を作成しており、全ての約200事業を実施計画どおり実施すると現在の財政状況では厳しい。
- ・アクションプランは、実施計画書として重点政策に基づく主要事業をまとめたもので、町民意識調査のニーズを踏まえて合計66事業選定している。
- ・最終的には、主要事業として50事業を選定して優先的に予算配分をしていこうというもの。
- ・本日の評価委員会の意見は、8月中の町長ヒアリングで最終調整をして、9月下旬に第1期アクションプランの公表に合わせて、町長ヒアリング結果として公表する。
- ・財政計画(歳入をベース)と実施計画(歳出ベース)を比較すると、令和4年度では約10億円乖離している。
- ・アクションプランに基づいて予算要求をするが、財政状況によって不採択、次年度以降先送りとなることあるため、アクションプランに掲載された事業であっても予算が約束されるものではない。

#### (資料6について)

- ・資料6は、行財政マネジメントの全体像をつかむための資料。
- ・行財政マネジメントは、本町が持続可能なまちになっていくために重要であり、日々の業務改善を行っていくもの。
- ・これまでも内部的に行っていたものを、第7次総合計画から町民にお示ししていくもの。
- ・総合計画では、「自ら行動し地域の活力の最大化に貢献する」という使命、基本方針として職員の行動指針を掲げている。
- ・業務改善は、庁内横断的な行財政マネジメント推進本部を中心に4つの部会で推進する。
- ・業務改善の取組は、4つの基本施策ごとに業務改善の視点、進め方、具体的な取組内容を掲げている。

#### (説明まとめ)

- ・第7次総合計画を「つかう計画」とする新しい取組みがこれから始まる。
- ・“選ばれる理由があるまち”“暮らし続けられるまち”のための意見交換の場としたい。

#### (委員長 千頭 聡)

- ・たくさんの資料をまとめて説明いただいて全体像を頭に入れることはかなり難しいと思うが、今の時点で質問はあるか。
- ・一般の住民の方が参加して、アクションプランの中から、ある意味で当面やるべきことの取捨選択をし、それが次年度の予算要求につながっていくという、この仕組みは全国的に見てもかなり先進的な取組だと思う。
- ・意見交換では、それぞれの立場で発言し、見方は色々あると思うが、問題をどう感じるかもそれぞれ違う中で、多様な意見がうまく出れば良いと思う。
- ・何を質問して良いかもわからないと思うので、グループワークの中でわからない点は出していただきたい。

#### (3) 基本施策の評価(グループワーク)について

##### 【事務局の主な説明】

- ・各グループで会議室を設定しているので移動をお願いしたい。
- ・グループワークの時間は75分で設定しているが、休憩も適宜とっていただき、次の議題の発表が15時45分に開始できるように集合していただきたい。

#### (委員長：千頭 聡)

- ・適宜水分もとりながら意見交換をお願いしたい。移動場所がわからなければ事務局まで。

(11グループでそれぞれ会議室に分かれて、25の基本施策の評価を実施。14:20~15:45)

※結果は、グループワーク記録書及びグループワークまとめ(発表用資料)のとおり。

**【Aグループ】**

- 1-1 地域で大切に育てる子育て環境
- 1-4 個性を活かす障がい者福祉
- 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり

**【Bグループ】**

- 1-2 次代の担い手を育てる教育環境
- 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり
- 1-5 安心して住み続けられる長寿社会

**【Cグループ】**

- 1-7 郷土愛、つながりを育てる文化・スポーツ
- 3-5 暮らしを支える地域公共交通
- 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ

**【Dグループ】**

- 2-1 豊かな海と産物を活かした水産業
- 2-2 豊かな農地と産物を活かした農業
- 2-5 新たなチャレンジを創る起業支援

**【Eグループ】**

- 2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業
- 2-4 何度も訪れたい観光・交流
- 2-6 価値ある産業を残す事業承継支援

**【Fグループ】**

- 2-7 働く環境づくり
- 3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
- 3-7 心と体安らぐ自然・住環境

**【Gグループ】**

- 3-1 まちと命を守る防災
- 3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
- 3-3 資源を活かす土地利用

**【Wグループ】**

- 4-1 職員の成長とやりがい

**【Xグループ】**

- 4-2 業務の高度化、効率化

**【Yグループ】**

- 4-3 町民の満足度向上

**【Zグループ】**

- 4-4 持続可能な行財政運営

#### (4) 評価結果（発表及びまとめ・講評）について

##### 【事務局説明】

- ・グループワークでの意見交換結果を1グループ3分以内で発表いただきたい。
- ・発表用シートをスクリーンに表示する。

(委員長：千頭 聡)

- ・評価結果及び出てきた意見を簡潔に発表いただきたい。

(各グループ発表用資料と意見交換結果は町HPで別に公表する)

(委員長：千頭 聡)

- ・時間的な制約が厳しい中で発表いただいた。
- ・共通して出てきたのは、広報・PR・情報公開というキーワードが多く出てきた。
- ・例えば、行財政マネジメントにある町民の満足度を上げるという観点からも、職員はがんばってやっても、その想いや成果がきちんとした形で、住民に広く伝えられていないければ、満足度の向上につながらないため、いかに情報を公開し、PRしていくかが大事であると改めて実感した。
- ・同時に、この評価委員会は1年に1回の総合計画の評価であり、評価の中でも最後の姿である。
- ・その前段として、各担当課が個々の事業を実施する段階で、関係する住民の方といかに一緒に協働していくかが大事である。
- ・既に努力していると思うが、住民と協働しながら、あるいはモニタリングしながら進めていっていただきたい。
- ・今回は初年度ということから、3時間という制約がある中での評価であったが、評価の仕方についても変えながらやっていければ良い。
- ・ご意見等があれば事務局まで申し出ていただき、改善につなげていきたい。

## 5 その他

##### 【事務局の主な説明】

- ・長時間にわたり熱心に議論いただき、ありがとうございました。
- ・本日いただいた意見をもとに、8月中旬から町長ヒアリングを実施し、9月下旬頃に第1期アクションプランを公表する。
- ・同時に本日の評価委員会結果も併せて公表するため、委員の皆様はご確認いただきたい。
- ・アンケートに運営方法についての改善点等をいただきたい。

## 閉会

(司会：企画財政課長)

閉会にあたり最後に総務部長よりあいさつを申し上げる。

総務部長あいさつ（総務部長：滝本 恭史）

長時間にわたりありがとうございました。皆様からいただいた意見は町政に活かしていきます。今後ともご意見いただきますようお願い申し上げます。

(司会：企画財政課長)

以上をもって、第1回総合計画評価委員会を閉会とする。ご協力いただき大変ありがとうございました。

以上



第7次南知多町総合計画評価委員会 グループ名簿（基本施策1-1～3-7）

Aグループ 【施策】 1-1, 1-4, 1-6 出欠

町職員	児童係長	中村 英樹	○
	総務係長	坂口 増和	○
	福祉医療係長	土井 美香	○
	検査管財係長	伊藤 友規美	○
	給食係長	石黒 欽也	○
評価委員	モニター	家田 倫子	○
	モニター	那須 直美	○
	一般公募	前田 悠樹	○

Bグループ 【施策】 1-2, 1-3, 1-5 出欠

町職員	学校教育係長	大崎 沙久実	○
	健康推進係長	伊藤 尊人	○
	社会福祉係長	堀之内 浩子	○
	国保年金係長	松本 伸弘	○
	住民税係長	宮地 利式	○
評価委員	モニター	山本 多恵	○
	モニター	坂本 光江	○
	モニター	桂木 恭子	○

Cグループ 【施策】 1-7, 3-5, 3-6 出欠

町職員	社会教育係長	保母 公次	○
	地域振興係長	家田 直政	○
	スポーツ係長	滝本 義紀	○
	議会総務係主査	小坂 有一	○
	人事係長	相川 洋輝	○
評価委員	モニター	鈴木 伶菜	○
	モニター	坂口 尚子	○
	モニター	滝本 孝治	○

Dグループ 【施策】 2-1, 2-2, 2-5 出欠

町職員	農政係長	榊原 康広	○
	水産係長	百合草 文哉	○
	都市計画係長	相川 知久	○
	環境保全係長	齋藤 桂	○
	出納係長	北川 峰子	○
評価委員	モニター	松下 丈弘	○
	モニター	大岩 ゆき乃	○
	モニター	大松 展子	○

Eグループ 【施策】 2-3, 2-4, 2-6 出欠

町職員	財政係長	坂本 圭志	○
	高齢者介護係長	内田 健二	○
	戸籍住民係長	田中 美佳	○
	工務係長	間瀬 桂輔	欠
	商工観光係長	田中 達也	○
評価委員	モニター	山下 茂	○
	モニター	小笠原 辰夫	○

Fグループ 【施策】 2-7, 3-4, 3-7 出欠

町職員	業務係長	石橋 暁登	○
	環境衛生係長	相川 久紀	○
	道路港湾係長	鈴木 誠	○
	広報情報係長	吉原 裕人	○
	固定資産税係長	磯部 貴宏	○
評価委員	モニター	須賀 萌乃	○
	モニター	鈴木 ひとみ	○
	モニター	岩尾 哲彌	○

Gグループ 【施策】 3-1, 3-2, 3-3 出欠

町職員	防災安全係長	戸田 竹彦	○
	空き家対策係長	堤田 健太	○
	地域包括支援係長	久野 裕規	○
	徴収係長	山下 哲矢	○
	管理係長	鈴木 喜彦	○
評価委員	モニター	安田 篤史	○
	モニター	宮坂 智賀	○
	モニター	木藤 朝光	○

# 第1回南知多町総合計画評価委員会 出席者名簿

町職員：62名

評価委員：31名

出欠

出欠

町執行部	町長	石黒 和彦	○
	副町長	中川 昌一	○
	教育長	高橋 篤	欠
	総務部長	滝本 恭史	○
	建設経済部長	鈴木 淳二	○
	厚生部長	大岩 幹治	○
	教育部長	鈴木 茂夫	○

事務局	企画財政課長	滝本 功	○
	企画政策係長	奥村 卓矢	○
	企画政策係	鈴木 秀治	○
	//	山下 公大	○
	総務課広報情報係 (記録写真)	小黒 ほのか	○

## 南知多町総合計画評価委員会グループ表（行財政マネジメント4-1～4-4）

### Wグループ

### 【施策】4-1 出欠

町職員	まちづくり推進室長	高田 順平	○
	建設課長	山本 剛	○
	産業振興課長	奥川 広康	○
	学校給食センター長	山本 剛資	○
評価委員	商工会代表	酒井 友之	○
	教育委員代表	吉原 知味	○
	一般公募（ウミひとココロ代表）	齋藤 慎也	○

### Xグループ

### 【施策】4-2 出欠

町職員	総務課長	内田 純慈	○
	住民福祉課長	宮地 利佳	○
	環境課長	富田 和彦	○
	健康介護課長	田中 直之	○
	議会事務局長	大久保 美保	○
評価委員	社会福祉協議会代表	山下 かず代	○

### Yグループ

### 【施策】4-3 出欠

町職員	企画財政課長	滝本 功	○
	防災危機管理室長	石黒 俊光	○
	健康子育て室長	相川 和英	○
	学校教育課長	鈴木 和芳	○
	社会教育課長	森 崇史	○
評価委員	モニター	秦 由岐穂	○
	愛知県	宮島 崇志	○
	民生・児童員代表	中村 修見	○
	日本福祉大学教授	千頭 聡	○

### Zグループ

### 【施策】4-4 出欠

町職員	会計課長	山本 有里	○
	税務課長	神谷 和伸	○
	水道課長	坂本 有二	○
	保険年金室長	山下 忠仁	○
評価委員	あいち知多農協代表	大岩 徳夫	○
	金融機関代表	松下 廣法	○
	男女共同参画	伊藤 恵子	○

(千頭委員はXグループへ移動してもらった。)